

黄熱

どんな病気？



黄熱の流行地域は、アフリカと中南米の一部で、赤道を中心とした南北度の範囲内です。黄熱ウイルスを保有しているネッタイシマカなどに吸血されることにより感染します。潜伏期は通常3～6日で、頭痛、めまい、発熱、筋肉痛、吐き気がみられ、その後、黄疸、吐血、下血、蛋白尿などの症状が現れ、重症例では昏睡状態となり、死亡します。重症化した場合の致死率は一般的に%以上といわれています。

ワクチンの接種対象

任意接種です。検疫所と厚生労働省が指定した医療機関のみ接種できます。1回0.5mLを皮下に接種します。9か月未満の乳児は接種が受けられません。国によっては黄熱予防接種の国際証明書がないと入国できないところもあります。